

2026年5月 近鉄百貨店 売上速報

店舗別売上高対前年増減率(%)

	5月	
	売上高 ※1	(参考) 取扱高 ベース売上高 ※2
<b>あべのハルカス近鉄本店</b> (あべのハルカス近鉄本店 Hoop 等を含む)	16.6 (△0.1)	15.9
上本町店	4.4	6.5
東大阪店	3.2	3.1
奈良店	3.1	4.6
橿原店	0.2	△0.2
生駒店	1.2	3.1
和歌山店	△0.3	△0.2
草津店	9.5	11.9
四日市店	1.1	2.2
合計	△0.8	0.3
合計(既存店計)※3	1.1	3.2

(注) 数値は速報値のため、確定値とは誤差が生じることがあります。また、消化仕入取引を総額に置き換える等調整をおこなっております。

※1 百貨店部分の売上高と専門店部分の賃貸収入を合計した売上高。

※2 百貨店部分の売上高と専門店部分の取扱高を合計した売上高。

※3 2026年2月28日に営業を終了した「名古屋店」の前年実績を控除した売上高。

【あべのハルカス近鉄本店の5月概況】

5月は、地方創生プロジェクト「ハルカス・ニッポン博覧会」の第一弾「鹿児島編」の開催や、22日にオープンした2027年国際園芸博覧会の公式ライセンス商品を展開する「EXPO 2027 オフィシャルストア あべのハルカス店」の好調な滑り出しが集客力を高め、入店客数は対前年11.2%増となりました。売上高についても、全部門において前年実績を2ケタ上回りました。

商品別では、食料品において先月末にグランドオープンした惣菜売場が対前年18.3%増と好調に推移し全体を牽引したほか、婦人服では薄手のブラウスやTシャツなどの夏物衣料が好調に推移しました。また、婦人洋品では日傘のPOP UPが目標を大きく上回りました。

外商売上やインバウンド需要も引き続き堅調で、ラグジュアリーブランドを中心に伸ばしました。